

# 2019年度(平成31年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

〈学校用〉

校番(11)番 福山市立 鳳 中学校

## 1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する21世紀型“スキル&倫理観”	思考力・表現力	人との関わり(他者を理解関わる力)		
めざす子ども像(21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた児童生徒の姿)	論理的に考え、他者の考えを尊重しつつ、自らの意見を主張することができる。	・TPOを意識して、話したり聴いたりすることができる。 ・周りの仲間と協力して行動できる。		

## 2 授業の現状

- ・資質・能力を育むため、深い学びの視点で授業改善を図ろうとしているが、日常の授業における、学習活動の質の向上を図る必要がある。
- ・深い学びの鍵となる「見方・考え方」を働かせる展開の授業に課題がある。

転換

## 3 めざす授業の姿

- ・学びを深める問いの設定にこだわる授業。
- ・各教科などの「見方・考え方」を働かせる学習と社会をつなぐ授業。
- ・生徒自らが課題を見つけ、課題の解決に向けて探究活動をしていく学習を取り入れた授業。

## 4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
カリキュラム・マップに基づいた実践 ○道徳の授業改善を柱とした授業改善 ○「教科の全体構想図」教師のアプローチ・関わり方に基づいた見方・考え方を軸とした授業を1学期に1単元で行う。 ○自分の意見や考えを他の人の意見と比較してノートに記入できている生徒が90%以上。	○広島県中学校道徳研究会に向けて、組織的な研究推進を進めている。 ○生徒主体の授業展開を1学期に1単元行うことができた。 ○意見と比較してノートに記入している生徒は90%以上。	○引き続き組織的な研究推進を進める。 ○生徒主体の授業展開を2学期に1単元行う。 ○意見を比較してノートに記入できるような授業展開を工夫する。 ○話し合いの流れをふまえ、自分の考えを表現する場を1時間の授業の中で設ける。	○組織的な研究推進を進め、道徳の県大会で授業実践や研究発表で取組の成果を示すことができた。 ○生徒主体の授業展開を2学期に1単元行い、学んだ知識を活用して課題解決に取り組み、思考力を高められる場を設けた。 ○意見を比較してノートに記入している生徒は90%以上である。さらに効果を上げるための教師の交流の時間が確保できなかった。 ○話し合いの場を授業の中で設定し、生徒一人一人の意見を述べる機会を保障することで、表現力を高めるとともに、自分の考えを整理しながら新たな見方や考え方にふれる場を設けた。	○道徳を柱にした学びづくりを引き続き行いながら、学びを深める問いや授業展開について組織的な研究推進を進める。 ○生徒主体の授業展開を3学期に1単元行い、習得した知識を活用して課題解決に取り組み、思考力を高め、学びを深める。 ○ノートの記入について教師が交流出来るように時間を確保する。 ○表現力を高めるとともに、自分の考えを整理しながら新たな見方や考え方にふれるようにするために、話し合いの場を授業の中で設定し、自分の意見を述べる場を保障する。	○道徳を柱にした学びづくりを引き続き行いながら、学びを深める問いや授業展開について教科をこえて授業交流を行った。 ○生徒主体の授業展開を3学期に1単元行う予定だったが、教科によっては時数が足りず実施できなかった教科もある。 ○ノートの交流は難しかった。(3月に交流予定) ○話すこと・聞くことに重点を置き、話し合いや議論の場を授業の中で設定し、意見を述べる場を保障することができた。

## 5 取組の結果等

数値は2019年(令和元年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%) (肯定的評価)

問題	〈児童生徒質問紙調査〉(%)	(肯定的評価)
国語	75(+1)	87.2
数学	68(+8)	84.9
英語	63(+7)	72.1
		98.8

( )は県平均との差

「基礎・基本」定着状況調査 (児童生徒質問紙調査) (%) (肯定的評価)

学校へ行くのは楽しい	88.3
「やりなさい」と言われなくても、自分から進んで勉強をしている	70.2
授業では、課題について、「なぜだろう」「やってみよう」と思う	74.5
授業では、友だちと話し合うなどし、考えを深めたり広げたりしている	87.2

暴力行為発生率・不登校児童出現率 (%) (2)月末現在

暴力行為	0.3%	不登校	2.36%
------	------	-----	-------

体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子) 10/24	○「20m シャトルラン」を県平均以上にする。男女とも2.3年生が県平均を下回っている。	○男女共通 「握力」「上体おこし」「20メートルシャトルラン」「立ち幅跳び」において県平均値かつ全国平均値より低い学年がある。	・「握力」「上体おこし」体育の授業における補強運動、筋筋運動の充実。 ・「20メートルシャトルラン」部活動の基礎トレーニングの10分間走の継続。 ・「立ち幅跳び」単元における跳躍フォームの確認や補強運動の充実。
(女子) 13/24	○「ボール投げ」を県平均以上にする。女子は1年生、男子は2.3年生が県平均を下回っている。		
目標値	①焦点化した項目が県平均以上 ②個人内評価が上昇した生徒80%以上		

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者] (%)

質問項目	当てはまる	当てはまらない
仕事にやりがいを感じている	86.7%	13.3%
仕事に充実感がある	66.6%	33.3%

児童生徒アンケート(%) (12)月実施

質問項目	当てはまる	当てはまらない
授業で考えることが面白い	40.5%	2.7%
自分の考えは、認められている	34.7%	2.8%